

平成30年度 児童発達支援事業自己評価表 (事業者) 【ピーターパン長命ヶ丘】

配布数6枚 回収数6枚 (回収率100%)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	・配置基準を満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に心じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	・建物は古いが構造はバリアフリーになっている。 ・子どもの育ちや特性に配慮した、構造化と情報伝達の工夫をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		
業務改善	5	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	・職員全体会議において、目標設定と評価を実施している。今後、会議に欠席した職員への周知に努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・年に1回評価を実施し、寄せられた保護者の意見を職員で共有し、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに。その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	・保護者の評価に対し、職員会議で共有検討し改善に活かしている。・今年度開所したので、ホームページでの公開は平成30年度から実施となる。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・内部評価は実施しているが、外部評価機関による第三者評価は実施していない。今後調査費の予算化や評価機関の調査を行う。
	9	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	6		・時短職員を含め、研修の機会を設け人材育成に力を入れている。・研修内容は不参加職員にも周知している。 ・また障害特性研修は外部講師を招いて実施してい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		・現在はアセスメント研修で得た知識をもとに個別の状態像を職員間で把握、共有し、家族ニーズを取り入れて支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	・現在はアセスメント研修で得た知識をもとに職員間で意見を交換して個別の状態像を把握している。今後、標準化されたアセスメントツールでの客観的分析を勉強しながら取り入れていく予定である。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「子どもの発達支援」(本人支援及び移行支援)「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	・子ども支援、家族支援については相談支援事業等と連携しつつ支援を実施した。今後、移行時期がきたら適切な地域支援を実施していく予定である。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		・計画に沿う支援を基本に、必要に応じてプログラムの工夫をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・単横職員が意見交換して提案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・繰り返しや固定のプログラムが効果的な場面も採り入れて、体験の幅が広がる工夫をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		・現在人数が少ないが、集団の他者とのやり取りの場面を想定した、意思の伝達プログラムも組み合わせている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	6		・支援開始前には、職員間で打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6		・支援終了後には、職員間で振り返りを行い、気づいた点や次回の活動計画等を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・定期的なモニタリング及び必要に応じて家族からのモニタリングを実施している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		・児童発達管理責任者と担当職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・サービス担当者会議等において、子どもに係る地域機関や地区保健師等との連携を図っている。
	23	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	・平成30年度は対象児がいなかったが、利用ニーズがある場合、適切な連携を実施する。
	24	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	0	0	・平成30年度は対象児がいなかったが、利用ニーズがある場合、適切な連携を実施する。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	0	・平成30年度は対象児がいなかったが、利用ニーズがある場合、適切な連携を実施する。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	0	・平成30年度は対象児がいなかったが、利用ニーズがある場合、適切な連携を実施する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	・アーチル研修をはじめとして受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	・現在実施していなかった。今後機会を作っていくたい。
	29	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			・現在参加に至っていない。今後、自立支援協議会の子ども部会を探したり、地域の子育て会議等に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・日々の支援の中で捉えた得意や苦手を伝え、支援の工夫を家族に伝えている。保護者の体調不良時等に役立つ支援を心掛けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	・日々の支援の中で捉えた得意や苦手を伝え、支援の工夫を家族に伝えているが、ペアレントトレーニングは今後の課題である。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・見学時や契約時に丁寧に行っている。
	33	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		・保護者からの意見を取り入れて個別支援計画を作成し、署名捺印をもって同意を得ている。今後、家族の周知に同意の意義について全職員の周知に努めたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・定期的な個別面談を実施し、家族の相談や情報の共有を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	・現在利用者が少ないので保護者会はない。今後研修やお楽しみ企画を通して出会いの機会を作ることから始める。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	6		・相談やクレームの申し入れは窓口を掲示して明示し、迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動状況や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか。	3	3	・年4回の開放を発行し、情報の提供を実施している。 ・今後月単位の活動状況等の的確な伝達方法を改善する。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6		・家族に対しては契約時に、個人情報保護の説明を行い、個人情報の使用の限定や広報等への写真使用に関する是非等の承認を得ている。 ・職員に対しては研修を実施し、周知している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・子どもとの意思疎通は、個々の特性に応じた意思疎通の方法やコミュニケーションツールを工夫している。 ・保護者への意思疎通については、口頭での説明に加え、文書メモ等を使って子育てで忙しい中でも確実に伝える工夫をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	2	4	・年度途中からの開所であった為、地域行事は実施しなかった。今後、多機能型で実施している放課後等デイサービス等と共催で、地域の人との交流の機会を作っていく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	3	・マニュアルを作成し、職員間では共有・訓練を実施している。保護者への周知をより進めていく。
	42	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6		・避難行動に慣れるよう、訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		・入所時のアセスメントやフェイスシートで確認し、職員で共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	・現在対象児がいないが、今後登録があった場合適切に対応していきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	・ヒヤリハットの情報交換は職員会議で実施しているが、事例集の作成に至っていない。今後検討していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	・職員全体会議において毎年研修を継続している。欠席の職員に対する周知の方法を再検討したい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に充分説明し了解を得た上で、児童発達計画に記載しているか	5	1	・マニュアルの整備や契約時の説明、支援計画への記載をしている。今後研修に参加できなかった職員の周知に努める。